

目次

村政報告	2
6月定例会	3
一般質問	3～6
議決結果	7
所管事務調査	8

議会だより

6月議会

一般質問に7人の議員が登壇！ 村政を質す！



△曾原湖ランニングコースの行政視察（6月14日実施）

村政報告



村長 小椋敏一

招集 挨拶

6月 定例会

6月11日~14日

一、桜の交流プロジェクトについて

去る4月28日に、都民の記念植樹バスツアーがあり、64名の方々が、いこいの森に東京都ゆかりの桜を植樹された。

また、5月13日には、東京都の技監、担当部長外職員の方々、そして小椋議長、遠藤副議長の参列をいただき、シンボルツリーの桜の植樹、そして石原慎太郎前東京都知事に揮毫していただいた記念碑の除幕を行い、村と東京都の更なる交流、親交を深める機会となった。

二、台湾観光・物産関係 トップセールスについて

去る5月16日から5日間、福島県の村田副知事を団長に台湾の観光関連機関や航空、物産関係企業等へ訪問し、村及び福島県の観光誘客及び物産品のセールスを行った。

特に教育旅行については、放射線への懸念が強いことから、村は正しい情報の発信を基本に、安全安心を実感できるプログラムの開発などを検討していく。

本年度から交流可能な現地の中学校を台北駐日経済文化代表処からご紹介いただき、

南投県（なんとうけん）明譚（めいたん）中学校を訪問し、校舎内外の学習、生活環境等

を見学後、張校長先生と懇談し、生徒相互の交流をお願いしてきた。今後は、中学生の交流を契機に自治体相互交流も計画していく。

三、磐梯山噴火125年記念公演 「小椋佳と日本フィル弦楽四重奏団の夕べ」について

6月1日に裏磐梯のホテルを会場に、裏磐梯観光大使の小椋佳さんと、杉並区を拠点に活動している日本フィルハーモニー交響楽団とのジョイントコンサートを開催し、約400名の聴衆が美しい調べ、楽しいお話に共感、魅了され、盛況に幕を閉じる事が出来た。また杉並区民の方々が復興応援ツアーとしてこの公演に120名でお越しいただいたことなど、関係者のご支援に感謝申し上げる。

四、第7回自治体スクラム支援 会議について

6月1日に第7回自治体スクラム支援会議を裏磐梯で開催した。本村を含む会議を構成する七自治体、東京都杉並区、福島県南相馬市、北海道名寄市、新潟県小千谷

市、群馬県東吾妻町、東京都青梅市の関係者が出席し会議が行われた。

この会議では、亀岡内閣府大臣政務官に要望書を手渡し、「水平的支援促進に向けた法整備」、「国の財政措置の明記」など直接国に要望し、災害時に支え合うことを誓う「北塩原宣言」を採択し閉会した。村は、構成自治体との更なる連携強化を図っていく。

五、会津米澤街道歴史ウォーク2013について

6月2日「新島八重も通った会津・米澤街道を歩く」をテーマとして地元各種団体の皆様のご支援をいただき開催した。2つのコースに約300人の参加者があり、会津・米澤街道の歴史に思いを馳せ、ゴールでは地元団体による手打ちそば・山塩関連商品の出店など参加者の皆様に満足いただき大盛況のうち終了する事が出来た。

六、東京都杉並区との交流 について

5月14日に杉並区和泉中学校の一年生が「フレンドシップスクール」で来村し、農業体験などの各種体験・交流事

業を実施した。今後の教育旅行推進・拡大に期待が持てるものとなった。また、6月20日・21日に、杉並区役所において開催予定の「初夏の観光物産展」に参加し本村の農産物の安全安心と観光誘客に向けた宣伝活動を行う。

七、小中学生の交流事業について

小学校6年生の沖縄県東村との交流については7月20日から4日間の日程で27名が訪問を予定している。

中学2年生の台湾派遣事業については8月6日から4日間の日程で交流を予定している。

八、ラ・フェスタ・エステイトについて

7月13日から3日間の日程で福島県、宮城県、山形県を経由する全長400kmのルートで行われ、参加者の宿泊地には当村の裏磐梯が決定され2泊の予定で開催される。このイベント開催で観光の再生と村民の元気発信の機会を増やしていく。

6月議会定例会

6月議会定例会は、6月11日、14日の4日間の日程で開催しました。

今回の定例会では、平成25年度一般会計補正予算をはじめとした各補正予算案、条例案など、11件の議案について審議し、10件について可決決定、また「副村長の選任について」では小椋渉氏の副村長への選任について同意しました。初日の11日と12日の2日間にわたって、村政に対する一般質問を行い、7名の議員が質問を行いました。（詳細は下記より）

13日には議案等の説明を受け、各常任委員会を開催し、最終日の14日には議案の質疑から採決までを行いました。（審議結果はP7を参照。）

一般質問 1

蟹巻尚武議員



1 原発事故に伴う風評被害
払拭の為の施策について

【問】 観光キャラバンについて、風評被害払拭のため、新しい対策をとっているのか。

商工観光課の窓口では職員が正面を向いた配置とすべきではないか。また、観光客が村内の放射線量の情報を入れられる体制となっているのか。

メディアの活用について、どのような媒体でどのように活用しているのか。

教育施設について、教育旅行誘客を図るため、施設の利用条件を緩和していく考えはないのか。

商工観光課長

県や会津の他自治体との連携、村内関係団体との連携により、首都圏を中心とした観光キャラバンを行っていただくか、教育旅行誘致活動の促進に力を注いでいく。

商工観光課内の配置については今後検討していきたい。また放射線量については合同庁舎前の測定器での表示や問い合わせに対して対応している。

磐梯山周辺3町村による誘客事業として、文化放送や朝日放送、中国放送などのラジオによる誘客宣伝、モニターツアー実施やテレビコマーシャルによる誘客宣伝を実施している。またラジオ福島からの定期的な裏磐梯情報発信をはじめとした、テレビや新聞、旅行雑誌への広告等掲載により誘客対策を講じている。

教育課長

地域住民等のスポーツ交流活動の場や、子どもの安全な遊び場を確保するために、学

一般質問 2

小椋 元議員



1 過疎対策について

【問】 当村の人口は減少傾向が続いているが、特に桧原地区においては著しく減少している。これを食い止めるための施策が第四次総合振興計画からは見えないがどの様に考えているのか。

ホテル等の閉鎖が続くなか、景観を阻害している空きホテ

ル等はいくつもあるが今後どのように対応していくのか。

企画室長

現在重点的に進めている施策として、「雇用の場を確保するための企業誘致」、「裏磐梯の観光再生のための観光施設再生整備計画」、「農業分野の所得向上、後継者対策」、「暮らしの分野として住宅改善事業、健康と福祉対策」を重点的に進めている。

空きホテルについては、景観に悪影響を及ぼすような建物であれば、所有者あるいは管理者とその改善に向けての話し合いの場を持つていくのが村の基本的な考えである。

2 国保会計について



【問】 今年度の国保税の値上げはあるのか。

滞納の状況と原因、今年度の徴収目標は。

住民課長

今年度においても、一般会計からの財政支援1,500万円を繰り入れることで国保税率を据え置くこととして、国民健康保険運営協議会へ諮問、答申をいただいております。国保税率を改正せずに運営を行っていく。

税務課長

平成25年4月1日現在、平成23年度分までで、滞納件数107件、滞納額3,243万円である。

滞納の原因としては、納税義務者の収入の伸び悩み、生活困窮、無財産、多重債務等がその要因と思われる、それらが複数影響しているものと判断している。

徴収目標については、計画目標として現年度分92・62%、滞納分で25%を目指している。



一般質問 3

相原和之 議員



1 職員の再任用に関する条例の運用について

【問】 職員の再任用は、新規採用職員数の減少につながるものと考えますが、村として雇用を促進していくという目標を掲げている中、自らが若い世代の雇用を縮小させるような制度の運用をしていくべきではないと考えるが。

総務企画課長

若年層の採用、再任用については、職員の年齢構成などバランスをとりながら今後の採用計画を策定していききたい。

2 平成27年4月からの福島県デスティネーションキャンペーンについて

【問】 平成27年4月から行われる福島県デスティネーションキャンペーン（以下DC）は、これは宣伝誘客効果が高いものである。平成26年4月からプレDCが始まり、これに乗り遅れないよう各種団体とどのように今後の計画を立てているのか。

また、JRによるものなので、2次交通の弱い当村としてはどのように考えているのか。

商工観光課長

国内最大規模の観光キャンペーンであり、集客増を図る絶好の機会であると考え、観光協会など関係団体との連携、県や他市町村との連携により積極的に取り組んでいる。

プレDCが来々年4月からなので、現在観光素材、写真等の収集等を行い8月までに提出する計画である。

2次交通の問題については、平成17年の際には、3町村で「ぐるっと磐梯山号」として取り組んだことがあったが、今後民間事業者とも相談していきたい。

一般質問 4

五十嵐力雄 議員



1 日本で最も美しい村、ジオパーク等について

【問】 農業や観光、村民、どのように関わり合い、経済性や村民へもたらすことのできる計画なのか。

今後どのように進めていく計画なのかが見えてこないが、今後の計画は。

企画室長

日本で最も美しい村については、登録資源である「旧米澤街道の歴史資源」、「早稲沢の高原野菜畑が広がる景観」に磨きをかけ、農業や観光、商工業などの産業の振興を図り、経済を活性化することにある。

平成27年度の再審査の通過を、ジオパークについては世界ジオパーク加盟を当面の目標とし進めているところである。

2 農産物の鳥獣被害について

【問】今年度より県の許可を待たずに村で許可する事が出来るかと聞かされた様な場合に許可を出すのか。

農産物の被害はクマ、サルはもとよりこれまでなかったイノシシによる被害が出ているが、どのように対策しているのか。

農林課長

ツキノワグマが出没した

際、人身に対する危険が発生

した場合は、出没している場所から人身被害が発生する恐れのある場合の緊急性を要する際にのみ市町村による有害捕獲許可権限が、県より移譲されたものである。

サルに対しては、昨年につき電気柵導入にかかる経費の補助、イノシシ対策については捕獲用の罠を2台導入した。あわせてハクビシンの被害も多くなっているため罠等導入に向け準備をしていく。

一般質問 5

五十嵐正典 議員



1 企業誘致について

【問】5月初旬に喜多方の企

業が、当村に会社を持ってきたいという話があったようだが、かなりの規模の工場、従業員数の計画のようであり、村としては多大なメリットのある話と考える。今後スピード感を持ってこの企業の誘致を進めていかなければならないと考えるが、村としてはどのように進めていく考えなのか。

また、相手企業に対してしっかりと連絡をしているのか。

企画室長

工場等の設備投資額、あるいは雇用規模が大きいなど経済効果が高いと判断している。今回の補正予算で工業団地の基本構想策定費として委託料を提案しており、より具体的な話し合いを進められる計画、根拠を今後早急に策定し企業誘致に取り組んでいきたい。

一般質問 6

大竹良幸 議員



1 飲料水の検査について

【問】村の飲料水の放射線量検査はどこに依頼しているのか。

2 漆地区内の住環境整備について

【問】漆地区内の道路は狭いところが多く緊急車両等の通行も苦労している状況と考えるが、区からの要望もあるように、できることから早急に拡幅工事を進めていくべきと考えるが。

毎年部落内では排雪場所がなく大変苦労している。今年のような大雪ではとりわけ大変である。早期に排雪場所を確保すべきと考え

建設課長

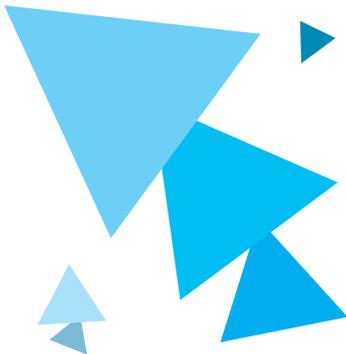
2週間に1回の頻度で各施設から採水し、福島県衛生研究所で検査を実施している。

建設課長

地元の皆様との話し合いをもち、用地等の協力を得ながら道路整備を進めていきたい。

また、区からの要望の中でも、特に子どもが通る周辺は、なるべく広げるような方向で検討していきたい。

大雪のことを考え、河川を排雪場所として確保できるように、県と協議していきたい。



3 農業の振興策について

【問】 村の農業の担い手を育てる為には、新しい技術の導入に助成をすべきと考える。防草シートや灌水チューブの補助事業など新しい技術の導入に対して補助をしていく考えはないのか。

営農指導員の方が、各種団体や様々な部会の会合に出てもらえば、若い人たちの意識改革につながっていくと考えるが。

4 幼稚園の施設とその周りの環境づくりについて

【問】 さくら幼稚園の東側に広く用地を確保し、子どもたちに広い場所で伸び伸びと遊ばせる考えはないのか。

さくら幼稚園周辺には十分な駐車場がないため、子どもの送迎時間には車がすれ違えないほどである。いつ事故が起きてもおかしくない状況であり、十分な駐車スペースを確保する考えはないのか。

農林課長

今年度予算においても、農業生産基盤改善強化対策事業として予算化しているのですが、その中で出来るものに対しては進めていきたい。

現在営農指導専門員が、週に3回程度地域を巡回している。各種団体の会合等にも出席しながら地域の皆さんの声を一つでも多く取り上げ農業振興にあたっていきたい。

教育課長

園児の安全指導・安全管理を確保するのは大切なことであり、園児数の多いクラスは職員2人体制を取っている。

園児が外で遊ぶ時間をずらすなどして、伸び伸びと遊べる工夫をしており、今後とも園児数の推移を踏まえて、安全を確保しながら必要な措置を取っていきたい。

現在は駐車スペースの確保や保護者が送迎時間をずらすなどの対応をしているが、今

後とも多面的に駐車スペースを確保するようにしていきたい。

一般質問 7

若林幸子 議員



1 村営大塩虚空蔵尊駐車場について

【問】 山塩企業組合が駐車場を使用しているが、あの地はバスの発着地であり、また村の特産品を守るため、旧大塩小学校に拠点を移し生産拡大を図るべきではないのか。

また、使用料を月額1万円としているが、裏磐梯パイロットファームと同様に無料とする考えはないか。

企画室長

会津山塩企業組合の計画に基づきながら必要な協力をしていきたい。

使用料については行政財産の一部の使用を許可するという形態であり、企業立地協定とは契約手続きの違いがある。

2 旧大塩小学校の利用について

【問】 今後の管理運営は、部屋ごとなのか、全体を一括して管理するのか。

企画室長

村が管理主体となり、施設を一体で管理する。

3 商品開発について

【問】 商品開発にあたってどの様なメンバーを招集しているのか。またコンサルタントの選定はどの様になっているか。

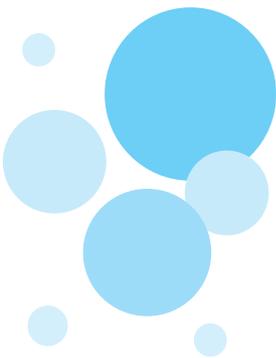
他県の方や村民から広くアイデアを募集し、賞金などを設けて特産品の開発につなげていく考えはないのか。

農林課長

農産物の開発については、農産物の生産者や地域の方々、専門的分野の方々を中心に組織化し、そこから村に要望されたものを村でコンサルタントにかけた経緯がある。

コンサルタントの選定は、加工技術から販売分野まで精通した業者の中から選定した。

他県の方、地元の方の意見を聞くということについては今後検討していきたい。



審議結果一覧

《4月臨時会》

平成25年4月21日提出

○土地の取得について（松原字剣ヶ峯地内）…………… 撤回

《5月臨時会》

平成25年5月21日提出

○土地の取得について（松原字剣ヶ峯地内）…………… 原案可決

《6月定例会》

平成25年6月11日提出

○喜多方地方広域市町村圏組合規約の変更について…………… 原案可決
 ○北塩原村税条例の一部を改正する条例…………… 原案可決
 ○北塩原村税特別措置条例の一部を改正する条例…………… 原案可決
 ○北塩原村重度心身障害者医療費の給付に関する条例の一部を改正する条例…………… 原案可決
 ○北塩原村デイサービスセンター条例の一部を改正する条例…………… 原案可決
 ○北塩原村国民健康保険税条例の一部を改正する条例…………… 原案可決
 ○平成25年度北塩原村一般会計補正予算（第1号）…………… 原案可決
 ○平成25年度北塩原村国民健康保険事業費特別会計補正予算（第1号）…………… 原案可決
 ○平成25年度北塩原村農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）…………… 原案可決
 ○風評被害払拭・交流活動用バス購入契約について…………… 原案可決
 ○副村長の選任について（小椋 渉）…………… 同意

【意見書】

○東京電力福島第一原子力発電所事故により発生した損害賠償請求権につき
 3年の消滅時効の適用を排除する立法措置を求める意見書…………… 原案可決

《6月臨時会》

平成25年6月26日提出

○職員等の給与の臨時特例に関する条例…………… 原案可決

《7月臨時会》

平成25年7月23日提出

○除雪ドーザ購入契約について…………… 原案可決
 ○北塩原村役場庁舎・コミュニティセンター耐震補強及び改修工事請負契約について…………… 原案可決

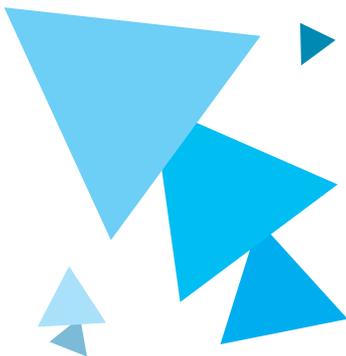
請願・陳情

◎採択となったもの

○国に対し、東京電力福島第一原子力発電所事故により発生した損害賠償請求権につき3年の消滅時効の適用を排除する立法措置を求める意見書提出を求める陳情

〈陳情者〉

福島市山下町番地
 福島県弁護士会
 代表 小池達哉



各常任委員会所管事務調査を実施

平成25年7月17日、18日に各常任委員会の所管事務調査を実施した。これは他自治体の先進的な取り組み等を調査し、今後の村の発展につながる事業施策を調査する事を目的として実施したものである。各委員会ではこの調査内容も踏まえ、今後のよりよい村政執行につながるよう、活動を実施していきます。

【総務常任委員会】

(調査期日) ..平成25年7月17～18日 (調査地) ..札幌市北方自然教育園(札幌市)、あいのさとサポートセンター(当別町)
(調査事項) ..廃校の活用について

【厚生文教常任委員会】

(調査期日) ..平成25年7月18日 (調査地) ..石狩郡当別町
(調査事項) ..国際交流事業について(スウェーデンとの交流経緯と今後の課題等)

【観光産業常任委員会】

(調査期日) ..平成25年7月17日 (調査地) ..石狩郡新篠津村
(調査事項) ..農林水産業の振興について(土壌改良を主とした農業の振興策について)



△総務常任委員会調査の様子



△厚生文教常任委員会調査の様子



△観光産業常任委員会調査の様子

お知らせ

次回定例会は**9月中旬頃** 開会予定です。
ぜひ傍聴にいらしてください。

※議会だよりは、村のホームページでもご覧になれます。
※議会だよりは、議会傍聴に関するお問い合わせは、村議会事務局まで。

TEL : 23-3263 FAX : 25-7358

編集委員

委員長 大竹 良幸
副委員長 蟹巻 尚武
委員 五十嵐 善清
委員 若林 幸子
委員 小椋 真